

(一社) 日本原子力学会 標準委員会 基盤・応用技術専門部会  
第6回 シミュレーションの信頼性分科会 (A2SC) 議事録

1. 日時 2014年5月7日(水) 13:30~17:30
2. 場所 東京大学工学部3号館424号室  
東京都文京区本郷7-3-1
3. 出席者(敬称略, 分科会委員名簿順)
  - (出席委員) 中田耕太郎(主査:東芝), 越塚誠一(副主査:東大), 中村均(幹事:CTC), 浅見光史(海技研), 石塚龍雄(CTC), 大島宏之(JAEA), 大貫晃(MHI), 大山一弘(MFBR), 笠原直人(東大), 甲斐芳郎(高知工大), 佐々木泰裕(関電), 佐田幸一(電中研), 鈴木喜雄(JAEA), 巽雅洋(原子力エンジ), 田中伸厚(茨城大), 内藤倣孝(ナイス), 中村秀夫(JAEA), 永吉拓至(日立), 古谷正裕(電中研), 美原義徳(鹿島), 山口彰(阪大), 吉田啓之(JAEA): 22名
  - (欠席委員) 岩崎智彦(東北大), 藤原大資(テプシス), 深堀智生(JAEA), 溝上伸也(東電): 4名
  - 出席委員数 22名 / 登録 26名, 充足率: 84% (>67%: 成立下限)
  - (常時参加者) 佐方宗樹(CD-adapco), 坪井一正(アンシス), 吉田学(GNF-J), 加藤達也(東芝), 規制庁2名
  - (欠席) 尾崎哲浩(原燃工), 久語輝彦(JAEA), 佐藤達彦(JAEA), 田中正暁(JAEA), 規制庁2名
  - (オブザーバ) 大野修司(JAEA)
4. 配布資料
  - A2SC-6-1 議事次第
  - A2SC-6-2 (1) 前回議事録案
  - A2SC-6-2 (2) 前回議事メモ
  - A2SC-6-3 (1) 第23回基礎応用専門部会参加報告
  - A2SC-6-3 (2) 第56回標準委員会参加報告
  - A2SC-6-4 (1) ガイドライン(2014) 本体・付属書案
  - A2SC-6-4 (2) ガイドライン(2014) 本体・付属書変更履歴
  - A2SC-6-4 (3) 分科会及びその後のコメントに対する対応
  - A2SC-6-4 (4) JIS Z8115:2000 の用語の説明
  - A2SC-6-5 レビューコメント票(回収分)
5. 議事録

(1) 主査・副主査の人事について

無記名投票が行われ、中田委員（東芝）が主査として選出された。副主査には主査の指名により、越塚委員（東大）が選出された。

(2) 標準委員会及び基盤応用専門部会の中間報告

資料 A2SC-6-3(1)に基づき、第 32 回基盤・応用技術専門部会でのガイドラインの中間報告の内容が説明された。また、資料 A2SC-6-3(2)にて第 56 回標準委員会でのガイドラインの議事及び質疑に関して説明があった。

(3) ガイドライン（2014 年）案の説明・討論

資料 A2SC-6-4(1)～(4)及び 6-5 に基づき、ガイドラインの更新版とコメントへの対応状況が説明された。今回は前回分科会のコメントと標準委員会のコメントを反映したものである。現案に対して討論が行われ、次回分科会にむけて下記の論点等に関わる修正を行うことになった。

- ・ 信頼性や予測等の重要な用語について、さらに分かり易く記述する。
- ・ 福島事故以後の時代の背景やガイド本来の目的等を考慮して、まえがきの記載内容を見直す。

(4) 前回議事録確認

前回分科会の議事録案(A2SC-6-2(1))が承認された。主査より、前回議事録メモ(A2SC-6-2(2))を参考用に配布する旨説明された。

(5) 今後の予定

- ・ 5 月 20 日（火）に基盤・応用専門部会、6 月 18 日（水）に標準委員会が開催され、現状のガイドライン（案）とコメント対応の説明を行う。
- ・ 次回の分科会では、ガイドラインの修正案を説明し、分科会として決議を行う予定。次回は 7 月 28 日あるいは 8 月 4 日の週にて幹事にて調整する。

以上